

文化財等マップ

1 孝女「和喜」之碑



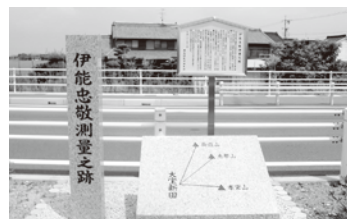
大宝の地主であった長尾重喬が和喜の美しい心映えを後世に残すために建てたものです。(大宝寺内南西側に設置されています)

2 六角れんが蔵



明治の末期に(株)大宝農林部の書類倉庫として使用されており、天井に至るまでれんがで作られたエキゾチックな明治の遺構です。

3 伊能忠敬測量之跡



飛島村へは、享和3年5月8日午後到大宝新田に到着、長尾治右衛門宅に5月11日まで宿泊し、滞在中は雨のため地図を作成したことが日記に記されています。

4 大宝排水機場保存館



湛水被害から救うために大寶陣がドイツから取り寄せたポンプで、現存する日本最古の大型渦巻きポンプです。

5 津金文左衛門胤臣像



飛島新田の生みの親である津金文左衛門の偉業を顕彰するために建てられ、毎年5月に供養が行われています。(神明社南側に建てられています)

6 一切経蔵



干拓のため犠牲になった多くの魚介類や虫の死を哀れみ、供養するために木村忠右衛門によって建てられました。通常「お経堂」と呼ばれています。

7 津金君遺愛碑



歌人としても優れていた文左衛門の絶筆あるいは辞世の歌が碑文として刻まれています。(長昌院内西側に設置されています)

8 元松地藏



江戸時代末期、近隣にまだ寺院もなく、厳しい農作業の後に村人が浄土の祈りをささげるために百姓惣代の金左衛門の嘆願によって設置されました。

9 飛島村郷土資料室



昔の農業や暮らし、干拓の歴史、郷土芸能、各文化財、津金文左衛門などについて展示しています。

10 奥田翁碑



明治12年に完成した新政成地区の新田開拓事業に参加した奥田重三郎をたたえた石碑です。

お近くをお通りの際は、お立ち寄りください。

←至 四日市

国道23号(名四国道)

至 名古屋→